

第110回 卒業式を挙行

日本歯科大学新聞

東京千代田区富士見
日本歯科大学新聞会
発行兼 中原 泉
編集人 日 偶 数 月 末 日
発行日 1部 10円
発定 編集室 (〒951-8580)
新潟市中央区浜浦町1-8
☎ 025 (267) 1500

卒業式典をWebで配信

本学では、3月初旬に東京・新潟の両学部ならびに両短期大学で挙行了卒業式典の動画を、父母や教職員にWebで配信した。

両学部196名が巣立つ 卒業証書番号No.21692号に

日本歯科大学第110回卒業式(学位記授与式)は、3月初旬両学部において挙行し、196名の学士(歯学)を送り出した。あわせて日本歯科大学大学院第58回修了式が催され、23名に博士(歯学)の学位記が授与された。

本年も新型コロナウイルス感染拡大への対策として、式典は簡略に行われ、藤井一維学長はじめ本学役職者、学部卒業生、大学院研究科修了生が参列した。学位記の授与、各賞受賞者表彰があり、学長から卒業告辞が述べられた。

また、東京短期大学と新潟短期大学の卒業式も挙行された。

第58回大学院修了式を併催

庶務部長が開式を宣し、本日の式典は簡略に学位記授与、各賞受賞者の表彰、校友会表彰、歯学会表彰のみを行うと告げた。まずクラス主任の簡



「卒業110回は永久背番号」と告辞を述べる藤井学長(東京)



クラス主任の点呼に応じて起立する卒業生たち(新潟)

井健夫教授より、令和2年度(2020年度)卒業生126名の氏名が呼びあげられ、代表して原田芽衣さんが、藤井一維学長より栄えある卒業の証として学士(歯学)の学位記が授与された。

つづいて学術優秀賞28名、6カ年皆勤賞6名、6カ年精勤賞20名、学術奨励賞10名、臨床実習優秀賞2名の受賞者に対して賞状等が授与された。

つづいて大学院新潟生命歯学部講堂において、大学院第58回修了式を併催して挙行された。

定刻午前11時、司会の荒木宣行事務副部長が開式を宣し、新型コロナウイルス感染拡大の予防のため、本日の式典は簡略に学位記授与、各賞受賞者の表彰、校友会表彰、歯学会表彰のみを行うことを告げた。

東京短期大学

東京短期大学の卒業式は、短大事務室の中島淑絵事務長の司会で、3月9日(火)午前10時より、生命歯学部富士見ホールにおいて挙行された。

まず、第52回歯科理工学科卒業生24名、第48回歯科衛生学科卒業生69名の氏名が呼びあげられ、奈良陽一郎学長より栄えある卒業の証として、各学科の代表に短期大学士(歯科理工学)と短期大

新潟短期大学

新潟短期大学の卒業式は、短大事務室の恩田宣士事務長の司会で、3月11日(木)午前11時より、新潟生命歯学部講堂で挙行された。

まず、第36回歯科衛生学科卒業生58名の氏名が呼びあげられ、代表に五十嵐文雄学長より、栄えある卒業の証として短期大学士(歯科衛生学)の学位

新潟短期大学

新潟短期大学の卒業式は、短大事務室の恩田宣士事務長の司会で、3月11日(木)午前11時より、新潟生命歯学部講堂で挙行された。

まず、第36回歯科衛生学科卒業生58名の氏名が呼びあげられ、代表に五十嵐文雄学長より、栄えある卒業の証として短期大

訂正・本紙667号(2021年2月28日)一面掲載の「新潟県へき地医療功労表彰」を受けられた高橋先生(70回)のお名前を、高橋明彦先生と訂正します。

2020年ノーベル平和賞候補

日歯雑誌で村上一枝先生を紹介

日歯雑誌で村上一枝先生を紹介

2020年ノーベル平和賞候補
マリ国でボランティア32年

中原 泉

ボランティア活動「マリ」に情熱を注ぐ

村上一枝先生は、10年間にわたる活動が目ざり、村上一枝先生は、国際連帯を「日歯雑誌」で発信し、その活動が、受賞者として選ばれることになった。...

同誌では、次のような書き出しで村上一枝先生を紹介している。...

新潟市内で小児歯科医院を開業する村上一枝さんである。彼女は、裏千家の御師匠でもある。昭和40年卒業の私の同級生なので、私は、いつも遠くから会釈する。...

令和2年度(2020)卒業生

大学院

第58回修了生

第110回卒業生

大学

大学院生命歯学研究科修了生16名、大学院新潟生命歯学研究科修了生7名は次の通り。

(生命歯学研究科)

- 歯科矯正学 矢部愛子
歯科矯正学 加藤万紀子
臨床口腔機能学 宮下大志
臨床口腔機能学 永島圭悟

- 接着歯科学 河本 芽
接着歯科学 嶋田智重
歯科理工学 渡邊 慧
歯科理工学 原田唯生

- (甲第1228号まで)
歯科麻酔学 藤森翔子
生化学 野澤孝臣
歯周病学 三代紗季

- 歯科補綴学Ⅰ 藤島 伸
歯科保存学 宮下葉月
歯科保存学 三枝慶祐

- 歯科保存学 小柳圭史
歯科保存学 杉田浩一
(甲第1243号まで)

- (新潟生命歯学研究科)
硬組織機能治療学 清水公太
硬組織機能治療学 佐藤史明

- 咬合形態機能矯正学 佐藤大介
咬合形態機能矯正学 稲富弘毅

- 顎口腔全身関連治療学 城井友幸
顎口腔全身関連治療学 久代洋貴

- 全身関連臨床検査学 島村直宏
(甲第1235号まで)

☆大学院研究発表優秀賞 久代洋貴

- 日本歯科大学第110回卒業生(新潟生命歯学部)70名は次の通り。
東 貴一 新垣秀太郎
飯島明日香 飯島祐介

- 板垣沙季 今井 葵
内田梨佳子 大江将史
岡部 耕 風間裕友樹

- 小山瑠生 境 晃宏
酒井萌音 佐藤史野
佐藤瑛子 鈴木清祐

- 七里菜耶 鈴木清祐
鈴木達大 田賀裕己
高野日南子 高橋健太郎

- 竹本瑞季 辻村大河
手塚保仁 鳥山由樹
中野智実 中野葉月

- 長嶺周和 奈良真希
伴 圭介 三村彩乃

- 平塚美宥 百瀬千裕
茂木彩衣 養田 奏

- 山橋昭宏 渡邊加菜
吉田織恵 金井 健

- 東 晋一 板垣壮佑
小林千風優 内田 樹

- 内村友彦 大島泰彦
岡部功太郎 杉木隆之

- 鈴木優矢 東 悠太
福成由佳 松井美珠

- 森 夏希 柳田翔子
山田裕太郎 吉田 祐



式典終了後、沼部幸博生命歯学部長から学位記を手渡される(東京)



日本歯科大学第110回卒業式



式典終了後、講堂の座席で卒業生、修了生の記念撮影が行われた(新潟)



- ☆学術優秀賞受賞者
佐久間慎 飯島明日香
小山瑠生 七里菜耶
高橋健太郎 高野日南子

- 回卒業生(生命歯学部)126名は次の通り。
相川理沙 飯田夏末
石川琢修 石川瑞菜

- 清水 伶 鈴木健太郎
鈴木美智子 須田隆正
染矢夏恋 高澤健斗

- 和島陽菜 和田怜奈
渡邊尚子 及川瑞稀
大友颯一郎 大矢珠美

- 久保田日向 小澁美月
五藤早希 篠原麻緒
高橋かれん 田島英利佳

- 1年||秋山 直 伊藤裕矢
白木奈々香 江上瑠香
大島風華 荻野誠人

- 2年||押木櫻子 秋山智也
飯田ちあき 片岡美涼
椎名井子 田中菜美

- 3年||吉田菜里 秋山 拓
朝岡映礼奈 大村聖良
北原聖子 久保田愛梨

- ☆学術優秀賞受賞者
相川理沙 石川琢修
石川瑞菜 市川英枝
犬山依志行 岩崎敦子

- ☆6カ年精勤賞受賞者
飯田夏末 石川琢修
泉 雄太 市川頭司

- ☆臨床実習優秀賞受賞者
羽毛真佑花 原田芽衣
大和田央子 染矢夏恋

- ☆6カ年精勤賞受賞者
飯田夏末 石川琢修
泉 雄太 市川頭司

- ☆臨床実習優秀賞受賞者
羽毛真佑花 原田芽衣
大和田央子 染矢夏恋

歯鏡
訪問歯科のカリスマ
十五年ほど前、歯鏡子は朝、ベッドのなかでラジオの英会話講座を聞く習慣がありました。

「陸上長距離の蓮見三郎(9回卒)は、日本歯科医学専門学校で、800メートル、1500メートルの日本新記録を作り、国内で敵なしだった。日本歯科大にすれば、今日まで唯一のオリンピック代表選手である。同大学は、今でもこの偉大な先輩を忘れない。大学史に刻んでおられ、個性あふれる人材を輩出する大学の自由で豊かな風土が生んだ偉大な先輩と記している。」

辞令
歯学博士 石山巳喜夫
名譽教授の称号を授与する
藤枝 美帆
医療職員(看護師)として採用する(附属病院看護部)

医療職員(看護師)として採用する(新潟病院看護科)
水野 奈々
医療職員(看護師)として採用する(新潟病院看護科)

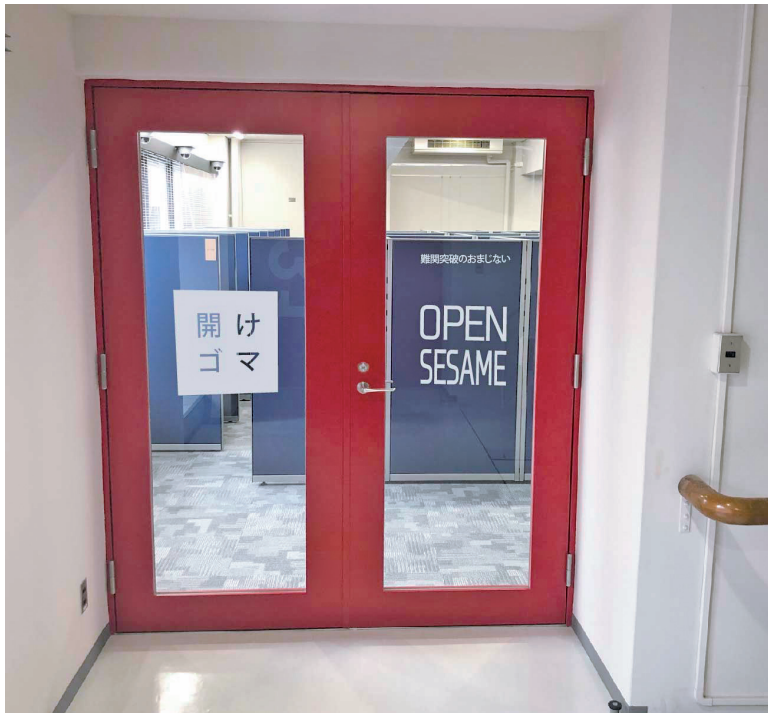
歯学博士 今井 敏夫
名譽教授の称号を授与する
令和3年3月1日 本学

新潟 本館と1号館を改修

新潟生命歯学部では、昨年から本館と1号館3階の改修工事を進め3月に工事が完了した。本館の図書館、役員室、会議室は天井のアスベスト除去などを行い、3階の図書閲覧室をリニューアルし、1号館3階の図書館書庫を自修室に改修した。



△ 一人用のブースで仕切られた自修コーナー



1号館3階に上る自修室ドアには、▷ 難関突破のおまじない「開けゴマ」

▷ 多人数が利用できる自修用ブース



◁ 明るく開放的なグループ学習室



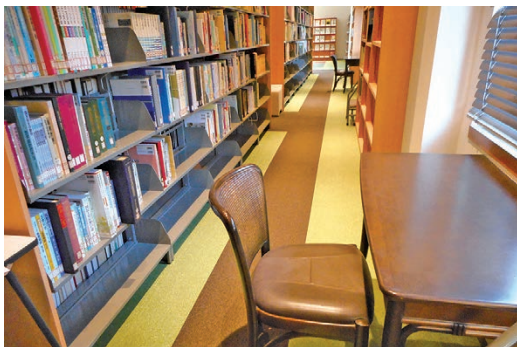
図書館3階をリニューアル



鷗外や漱石の著作が並ぶ加藤先生の旧蔵書



天井に届く書棚では各部門・分野ごとに配列



書架の傍らには閲覧席も設けられている



国内外の主な学術誌を配架した新着雑誌コーナー

新潟生命歯学部本館3階の図書閲覧室には、天井までの高さの書棚を設置した。歯学図書、医学図書、一般書などを書棚ごとに分けやすく配置するとともに、パソコンによる検索と、電子ジャーナルの閲覧が容易なように、PC端末を整備した。



また1995年に逝去された故加藤謙治教授(口腔外科・元新潟歯学部長)の蔵書を図書館の書庫で保管していたが、改修に伴い「加藤文庫」として閲覧室の書棚に配列している。なお1号館3階に配架していた製本済みの和雑誌と洋雑誌については、現在ではバックナンバーがネットで閲覧できると、また同一学術雑誌は生命歯学部図書館に所蔵しており、相互貸借できることから除籍処分し、空いたスペースを自修室に改修した。